

平成23年度当初予算案

参考資料

◆公約関連事業の推進	1
◆市債の状況	10
(1) 市債発行額と公債費の状況（一般会計）	10
(2) 市債残高の縮減状況（全会計）	11
(3) 市民一人あたりの市債残高	12
(4) 市債関係指標の状況	13
◆その他	
1. 使用料及び手数料等の新設・改定	14
2. 事業仕分け（外部評価）対象事業の見直し状況	16
3. 市民一人あたりの予算（一般会計）	17

◆公約関連事業の推進

・市長公約については、平成23年度当初予算で、
全39項目のうち33項目(約85%)に実施または着手する。
 【平成23当初予算計上:全86事業(うち新規:29事業、拡充21事業)】

・平成23年度、公約関連事業に要する事業費は、
 商工金融資金、生活道路の整備、交通安全施設整備を除き、
 H22年度補正予算で事業費を計上したワクチン3接種助成事業を加えた場合、
平成22年度当初予算と比較して、約49億円の増となっている。

〔※商工金融資金は貸付金であり、予算規模が他事業に比較し多額である
 ※歩道整備は生活道路の整備及び交通安全施設整備にかかる事業費の一部である〕

I こども病院移転問題

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
1 こども病院の移転検証	こども病院移転計画検証経費 ・こども病院移転計画の検証	18,194	0	市長室

II 福岡市の再生ビジョン

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
2 福岡市の再生ビジョン	★ 新ビジョン検討経費 ・市民フォーラム、各種団体との意見交換会等 ・将来人口フレーム等調査	30,000	0	総務

Ⅲ 市民のみなさんとの公約

1 もっと強いフクオカ宣言①

〔★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す〕

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
3 航路誘致と 港湾の整備推進	クルーズ客船誘致事業 ・船社訪問、受入体制の充実 ・岸壁使用料の減免 等	6,521	15,476	港湾
	★ 大型クルーズ客船対応の岸壁整備 ・大型化するクルーズ客船に対応するため、中央ふ頭-10m 岸壁を整備(調査・設計)	41,500	0	港湾
	★ クルーズ客船対応のための交通動線の検討 ・中央ふ頭におけるクルーズ客船に対応した円滑な交通動 線に関する検討	4,000	0	港湾
	★ 国際・国内ROROターミナルの整備(箱崎ふ頭)【港湾特会】 ・内航海運や鉄道ターミナルと円滑に接続する箱崎ふ頭にお ける国内初の国際・国内ROROターミナルの整備	105,000	0	港湾
	国直轄工事費負担金(須崎ふ頭) ・中央航路(-12m)の航路拡幅(200m→300m)	585,000	1,102,500	港湾
4 無線LANの配備	★ 無線LANの環境整備に関する調査・検討 ・公衆無線LANの環境整備に関し、現状の調査や課題の整 理などを行い、今後の方針等を検討	11,000	0	総務
	★ おもてなしの観光情報戦略 ・多機能携帯電話(スマートフォン)などを活用した、多言語で きめ細かな観光情報の発信	8,900	0	経済
5 食文化を活用した ふくおかの魅力向上	★ 食の観光資源化推進事業 ・「福岡の食」のブランド化と、統一的なPRを民と官で連携し て実施	7,700	0	経済
	農商工連携推進事業 ・市内産野菜や規格外野菜を使用した新商品の開発、販路 拡大等	2,000	1,000	農水
	★ 漁商工連携による未利用魚等活用推進事業 ・未利用魚や魚価が安い魚を使用した新商品の開発、販路 拡大等	1,000	0	農水
	☆ 博多の名産魚介復活推進事業 ・ハマグリ、アカガイ、ヒラメの試験放流等	1,200	1,200	農水
	鮮魚市場活性化事業 ・毎月第2土曜日を「市民感謝デー」として、市場の一部を開 放(魚介類等の販売、各種イベント実施)	13,448	10,000	農水

1 もっと強いフクオカ宣言②

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
歴史・文化のまちづくり、 6 博多湾の特性を活かした 観光促進	☆ 都心回遊促進事業 (ライトアップウォークの推進) ・博多部の集客力向上に向けたライトアップウォーク事業の拡充	6,000	4,500	博多区
	歴史を彩る公園づくり事業 ・舞鶴公園(観光ルート整備、照明灯の実施設計) ・高宮南緑地(用地取得、庭園整備等)	236,013	213,140	住都
	☆ さくらまつりの開催 ・福岡城さくらまつりの開催に係るライトアップやイベント開催経費等	25,000	12,500	住都
	福岡城跡・鴻臚館跡活性化事業 ・スタンプラリー、櫓公開 等	2,704	2,713	教育
	★ 鴻臚館跡の整備 ・鴻臚館復元CGの作成	3,000	0	教育
	ミュージアムの魅力向上検討経費 ・福岡ミュージアムウィークの実施 ・ホームページリニューアル、3館連携パンフ作成 等	5,878	8,003	教育
	★ 美術館大規模改修基本構想及び基本計画策定 ・大規模改修・リニューアルに向けての施設設備改修及び魅力向上の具体策、整備内容の策定	13,171	0	教育
	★ 那珂川水上バス推進事業 ・那珂川水上バスの利用促進に向けた誘導サインの整備等や新しい船着場に関する調査	14,500	0	経済
★ 観光客が利用しやすい交通導入事業 ・観光客の回遊性向上等のため、観光交通の改善策等の検討や観光回遊バス(2階建てバス)の導入	156,000	0	経済	
7 福岡での滞在促進	☆ 着地型観光プロモーション事業 ・福岡ならではの楽しみを体験で伝える体験型(着地型)観光商品「福たび」のプロモーションツール作成、着地型ツアーガイド育成等	2,798	2,470	経済
	★ 都心部とウォーターフロントとの交通アクセス強化の検討 ・来訪者にも分かりやすい公共交通機関の検討	5,000	0	住都
8 博多湾の保全	豊かな海再生事業 ・覆砂による底質改善、藻場造成、海底ゴミの収集処分等	21,471	21,167	農水
	★ 博多湾藻場再生モデル事業 ・従来手法よりもコストの安い手法(母藻投入等)による藻場造成モデル事業を実施	3,000	0	農水
	★ 博多湾アサリ再生事業 ・室見川河口域、能古島のアサリ再生(アサリ放流等)	2,000	0	農水
	☆ エコパークゾーン環境保全創造事業 ・シーブルー事業(和白海域におけるアマモ場造成、アマモ生育環境の改善)等	82,016	23,217	港湾

1 もっと強いフクオカ宣言③

〔★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す〕

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
9 地産地消の推進	博多の魚と湊交流事業 ・市内中学校等での料理教室の開催 ・市内各地の直販イベントや水産加工品開発等への助成	6,016	6,159	農水
	志賀島地域活性化支援事業 ・農林水産物の直販(現在、4～12月まで月2回の朝市開催)への支援	780	780	農水
10 農業の活力と農村のコミュニティの維持	★地域の魅力発信事業 ・農漁村地域(北崎、志賀島)において、地元とのワークショップ等により、活性化を支援	929	0	農水
11 農漁業への就業支援	★めざせ新規就農！応援事業 ・就農相談窓口の充実 ・農地お見合い事業(貸し手と借り手を結びつけ) ・耕作放棄地活用・再生への支援	3,245	0	農水
	農業インターンシップ事業 ・30～60日程度の農家による直接指導、講義を実施し、新規就農者を育成	2,000	2,000	農水
	ふくおか農業塾(いきいき農村づくり応援団事業) ・大根・白菜等の露地野菜についての講義、栽培実習、直売所への出荷実習等を実施し、小規模新規農業者を育成	744	750	農水
12 地場企業の育成	☆商工金融資金 ・中小企業へ長期・低利融資、融資枠・新規貸付枠の拡大 [融資枠] 3,683.8億円→3,911.0億円 [新規貸付枠] 2,132.0億円→2,178.4億円	117,040,000	113,018,000	経済
	☆金融対策 ・中小企業へ長期・低利融資を円滑に行うための事務手数料(利子補給)、損失補償(代位弁済、保証料)の拡充	2,493,317	1,876,471	経済
	☆品質確保経費 ・総合評価方式について、工事の品質確保及び地場企業育成などの観点から、手続きの効率化や評価項目の検討などを行い、対象範囲の拡大を図る	39,965	17,025	財政
13 雇用の創出	☆ふるさと雇用再生特別交付金事業 緊急雇用創出事業 ・県の2基金を活用した雇用創出事業 [雇用創出効果] H22 965人 → H23 1,426人	1,635,480	954,291	各局
	福岡市中高年人材活用事業 ・「中高年就業相談窓口」を通じ、収入がないなど雇用が必要な中高年求職者を市の臨時職員に採用し、生活を支援するとともに、行政サービスを向上	100,000	100,000	経済
14 新産業の育成と若者の雇用促進	☆研究開発拠点形成促進事業 ・第二産学連携交流センターの実施設計等	51,501	38,936	経済
	★「自動車・MBD拠点」ビジョン策定事業 ・自動車ECU(電子制御ユニット)の組み込みソフトウェアの設計検証ツール標準化開発拠点に向けたビジョン策定	6,500	0	経済
	デジタルコンテンツ関連産業の振興 ・インターンシップ事業 ・ゲームコンテスト、企業誘致等	9,121	8,784	経済
	★福岡・釜山クリエイター育成事業 ・ゲーム・デザイン分野でクリエイターを目指す学生の相互インターンシップ	2,000	0	経済

1 もっと強いフクオカ宣言④

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
	福岡アジアファッション産業支援事業 ・福岡アジアコレクション等(大連、台湾でのPR等)	7,000	10,000	経済
	☆ 就活支援プラザ事業 ・新卒者等の求職活動及び地場中小企業の求人活動の支援 ・会社合同説明会	14,651	10,138	経済
15 都市計画道路の見直し、自転車対策の強化	街路計画調査 ・長期未着手の都市計画道路の検証及び見直し関連業務等	5,622	6,382	住都
	★ 車道部における自転車走行空間の社会実験 ・走行空間設置の試行 等	10,000	0	道路
	★ 天神自転車駐車場社会実験 ・24時間営業及び料金傾斜化について試行	8,300	0	道路
16 歩道整備	道路のバリアフリー化 ・歩道の段差解消、電線共同溝整備等	1,754,500	1,754,100	道路
	生活道路の整備及び交通安全施設整備 ・市民に身近な道路における歩行空間の整備 等	9,013,877 [一部]	9,215,743 [一部]	道路
17 地下鉄駅でのパークアンドライドやフィーダーバスの推進	☆ 都心部における交通マネジメント施策の推進 ・公共交通利用促進に向け、郊外鉄道駅におけるパークアンドライド施策等の検討	3,000	0	住都
	☆ 地域における公共交通の利便性に関する調査 ・地下鉄七隈線の利用促進のため、橋本駅周辺や福岡外環状道路沿線地域において、バスアンドライドの社会実験による調査・検討を実施	17,320	3,000	住都

2 もっと優しいフクオカ宣言①

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局	
	事業内容	予算額			
18 保育所待機児童の解消	☆ 保育所整備費助成 ・民間保育所整備 (新增築、分園整備等)の助成 [H23:940人]	[定員増]	1,921,153	1,114,681	こども
	☆ 家庭的保育事業 ・少人数の乳幼児を家庭的保育者 (保育ママ)が保育する事業を実施 [H23:16カ所80人新設]	H22:750人分 ↓	135,384	21,892	こども
	認可化移行促進事業 ・認可外保育施設の認可保育所へ の移行に係る経費等の助成 [H23:80人]	H23:1,100人分	27,375	54,949	こども
19 特別養護老人ホーム 入居待機者の解消	☆ 特別養護老人ホーム等建設費助成 [整備数] (特養) H22:252人分 → H23:402人分 (小規模多機能型) H22:9カ所 → H23:10カ所 (認知症グループホーム) H22:9カ所 → H23:10カ所 (既存グループホームスプリングラー設置) H22:14カ所 → H23:23カ所		2,468,931	2,036,296	保福
20 国民健康保険料の軽減化	☆ 国保特会繰出金 ・中間所得者層の保険料負担の軽減を図るため、賦課割合 を見直すとともに、一般会計からの特別な繰出(約8.9億円) により、保険料を年間で一人あたり平均2,000円引き下げる		887,943	587,840	保福
21 子どもの学力向上、道徳・ 体育・食育教育の充実	学力パワーアップ総合推進事業 ・自校の学力課題をもとに学力向上プランを策定し、放課後 の学習ボランティアによる補習、朝のショートタイムにおける音 読や計算、漢字等の基礎学習など、学力向上の取り組みを 推進		11,568	20,051	教育
	★ 生活習慣・学習等定着度調査 ・学力や生活の状況についての本市独自の調査を実施		7,402	0	教育
22 子どものチャレンジ精神 の育成、英語教育の充実	☆ 小学校外国語活動支援事業 ・地域のネイティブスピーカーをゲストティーチャーとして招聘 《年間招聘回数》 [5、6年生] H22:9回 → H23:重点校35回 重点校以外15回		49,291	28,601	教育
	☆ ネイティブスピーカー(外国語指導講師)委託事業 ・中学校におけるネイティブスピーカーの配置 H22:13回/年 → H23:25回/年 (H24:35回/年予定) ★英語能力テスト、スピーチコンテスト		246,419	121,496	教育
	国際交流推進事業 ・海外児童生徒との絵画・作品交流 ・児童生徒の海外派遣やホームステイ受入に関する助成 等		1,580	1,755	教育
24 「子宮頸がんワクチン」の 公費助成	★ 子宮頸がん等ワクチン接種事業 ・子宮頸がんワクチン ・ヒブワクチン ・小児用肺炎球菌ワクチン		3,653	0	保福

2 もっと優しいフクオカ宣言②

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
25 地域包括支援センターの充実	★ いきいきセンターふくおか充実検討経費 ・センターのあり方や今後の方向性等を検討	1,260	0	保福
	高齢者地域保健福祉事業 ・現行39カ所の運営経費等	877,195	869,577	保福
26 水と緑があふれるまちづくりの推進	☆ 公園再整備事業【再掲】 ※番号27の事業を参照	【再掲】	【再掲】	住都
27 公園の再整備の推進	☆ 公園再整備事業 ・8年間で150公園程度の再整備を実施 身近な公園(新規着手数) 〔全面再整備〕 H22: 8公園 → H23:7公園 〔部分再整備〕 H22: 一公園 → H23:7公園 等	948,880	947,653	住都
28 ヒートアイランド対策の推進	都心部環境街づくり誘導方策の検討 ・都心部におけるヒートアイランド現象に対応したまちづくりの検討	4,500	10,000	住都
	遮熱性舗装の検討 ・都心部の道路において、遮熱性舗装を試行	12,000	12,000	道路
29 都市型ダム、排水性道路の整備	★ 雨水貯留施設整備事業 ・既存治水池の貯留能力拡充に向けた検討を実施 (那珂川・樋井川流域)	20,000	0	道路

3 もっと誠実なフクオカ宣言①

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
30 市職員の削減	・職員数を41名削減			総務
31 行政サービスの迅速化・広域化	★ コンビニエンスストアにおける証明書交付 ・「住民票の写し」「印鑑登録証明書」をコンビニエンスストアで発行できるようにするためのシステム開発	53,460	0	市民
	★ 区役所窓口ワンストップサービス検討経費 ・区役所窓口におけるワンストップサービスの研究	3,481	0	市民
32 市役所の組織風土改革	行政改革プラン ・行政改革プランの推進及び改定に向けて、職員対象のワークショップ等を実施	827	736	総務
33 意思決定過程の透明化	★ 戦略的情報発信事業(広報戦略室の設置) ・動画配信 ・外国人への情報提供 ・スポットCM	61,037	0	市長室
34 アイランドシティの土地利用や売却の新たな手法の検討	・アイランドシティへの企業立地、土地分譲を促進し、事業を着実に推進していくための具体的な方策について全庁的に検討			港湾
35 長期的視点に立ったアイランドシティのまちづくりの推進	アイランドシティ環境共生都市づくり ・環境配慮指針改定 H22:基礎調査 → H23:改定	6,802	3,000	環境
	先導的産業集積等推進事業(ふくおか健康未来都市構想の推進) ・アイランドシティ生涯すこやかタウン協議会の活動推進	300	500	港湾
	先導的産業集積等推進事業(国際ビジネスの集積) ・アジアへのセールス活動実施(投資セミナー、個別商談等)	5,988	6,200	港湾
	先導的産業集積等推進事業(市5工区産業集積) ・市5工区の産業集積に向けた営業活動	840	1,840	港湾
36 地域コミュニティの再生	公民館コミュニティ支援事業 ・校区担当職員、自治協議会、公民館が一体となり、地域課題の解決に向けた講座等を開催	3,600	3,600	市民
37 自治協議会の支援と事務手続きの見直し	活力あるまちづくり支援事業 ・校区自治協議会が行う公益的な活動に対する助成等	483,964	484,101	市民
38 行政と地域の役割の見直し	コミュニティに関する取り組みの全庁的推進 ・コミュニティとの共働に向けた職員の意識改革等の全庁的推進(全職員研修)、外部委員による事業の進捗状況の確認等	1,189	2,991	市民

3 もっと誠実なフクオカ宣言②

[★は新規、☆は拡充、所管局は各事業の所管を表す]

(単位:千円)

公約項目	H23取り組み内容		H22予算	所管局
	事業内容	予算額		
39 高齢者や障がい者の社会参加促進と見守り強化	★ 地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業 ・民生委員など地域で見守り活動を行う組織の相談・支援を行う地域福祉ソーシャルワーカーをモデル的に配置	19,175	0	保福
	☆ 障がい者のしごと・ものづくり展事業 ・ときめきプロジェクトの拡充 (キャンペーン、イベント開催など)	12,046	5,000	保福
	成年後見利用支援検討経費 ・成年後見制度の利用促進を図るため、相談支援体制のあり方について検討	600	700	保福
合 計	事業費	141,917,725	134,775,904	
	特定財源	133,395,243	127,555,665	
	一般財源	8,522,482	7,220,239	

「子宮頸がんワクチン」の公費助成 【H22年度2月補正計上額】	子宮頸がん等ワクチン接種事業 ・子宮頸がんワクチン ・ヒブワクチン ・小児用肺炎球菌ワクチン	1,590,986		保福
------------------------------------	---	-----------	--	----

約49億円の増

再 計	事業費	17,454,834	12,542,161
	特定財源	10,616,021	8,140,349
	一般財源	6,838,813	4,401,812

※12商工金融資金、16生活道路の整備及び交通安全施設整備[一部]を除き、H22年度ワクチン3接種助成事業を加えた場合

◆市債の状況

(1)市債発行額と公債費の状況(一般会計)

●市債発行

平成23年度当初 約720億円 (対前年度 約36億円の増)

※臨時財政対策債を除いた発行額

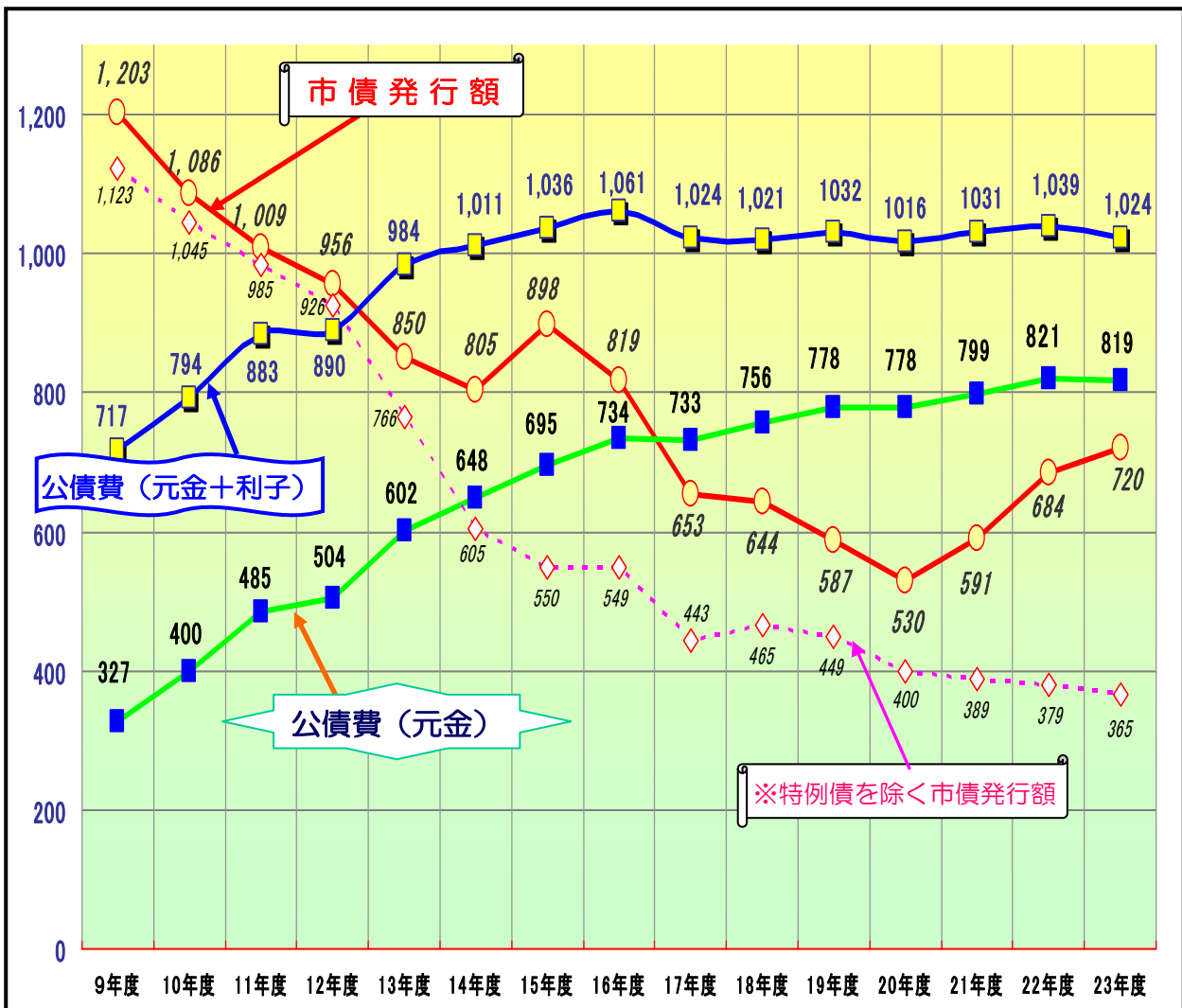
約365億円 (対前年度 約14億円の減)

(参考)平成22年度当初 約684億円

平成6年度当初 約1,219億円(当初予算最大)

単位：億円

市債発行額と公債費の推移(一般会計当初予算)



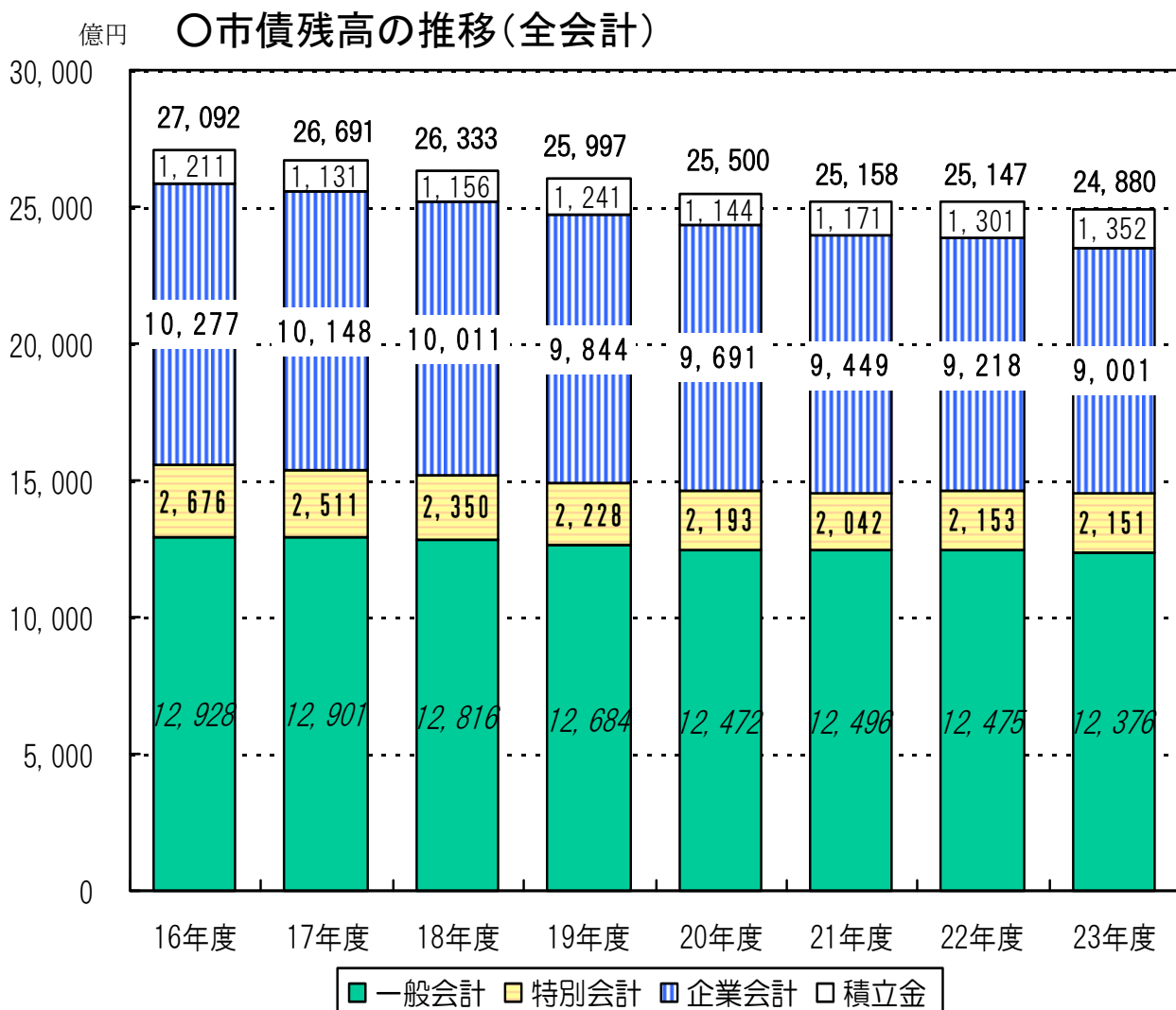
※特例債 後年度に交付税により補てんされる特例的に措置された市債
(臨時財政対策債、減税補てん債(~H18)、臨時税収補てん債(H9))

(2)市債残高の縮減状況(全会計)

平成23年度末残高の見込み

	約	平成22年度末残高見込みとの差
● 一般会計	約 1兆2,376億円	▲ 99億円
● 特別会計	約 2,151億円	▲ 2億円
● 企業会計	約 9,001億円	▲ 217億円
● 積立金	約 1,352億円	51億円
◇ 全会計	約 2兆4,880億円	▲ 267億円

※平成16年度末(最大時)の約2兆7,092億円に比べ、約2,212億円(約8%)減少



※積立金～満期一括償還方式で発行した市債の償還のために積み立てた基金の積立残高

※市債現在高は、16年度から21年度までは決算、22年度は最終予算、23年度は当初予算。

(3) 市民1人あたりの市債残高

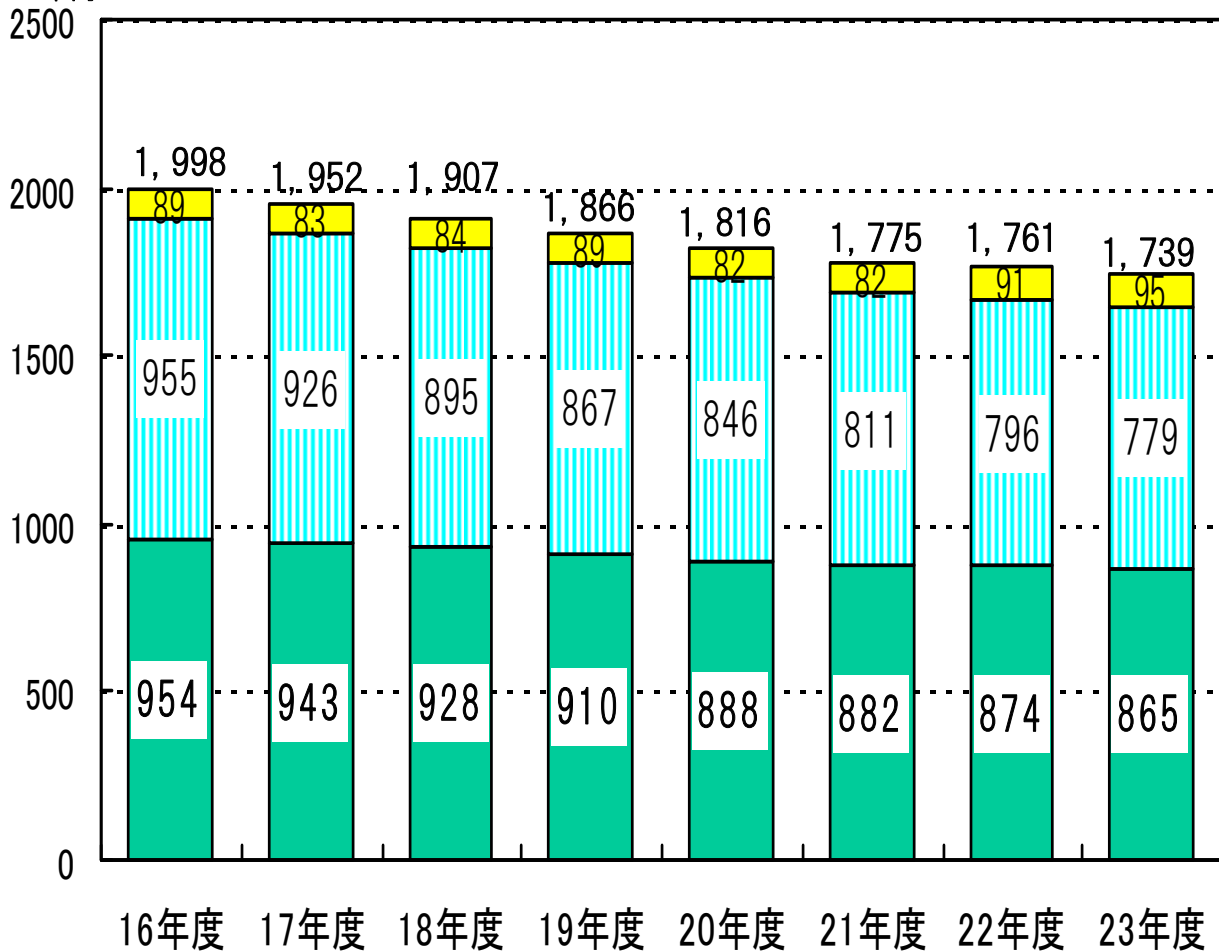
平成23年度末市民1人あたり市債残高見込み

(平成22年度末残高見込みとの差)

● 一般会計分	約 86万5千円	(△ 9千円)
● 特別会計・企業会計分	約 77万9千円	(△ 1万7千円)
● 積立金	約 9万5千円	(4千円)
● 全会計	約 173万9千円	(△ 2万2千円)

※平成16年度末(最大時)の約200万円に比べ、約26万円(約13%)減少

千円 ○市民1人あたり市債残高の推移



■ 一般会計分 ■ 特別会計・企業会計 ■ 積立金

* 人口は、16年度から22年度は当該年度の9月末日現在の登録人口、23年度は平成22年12月末日現在の登録人口によります。

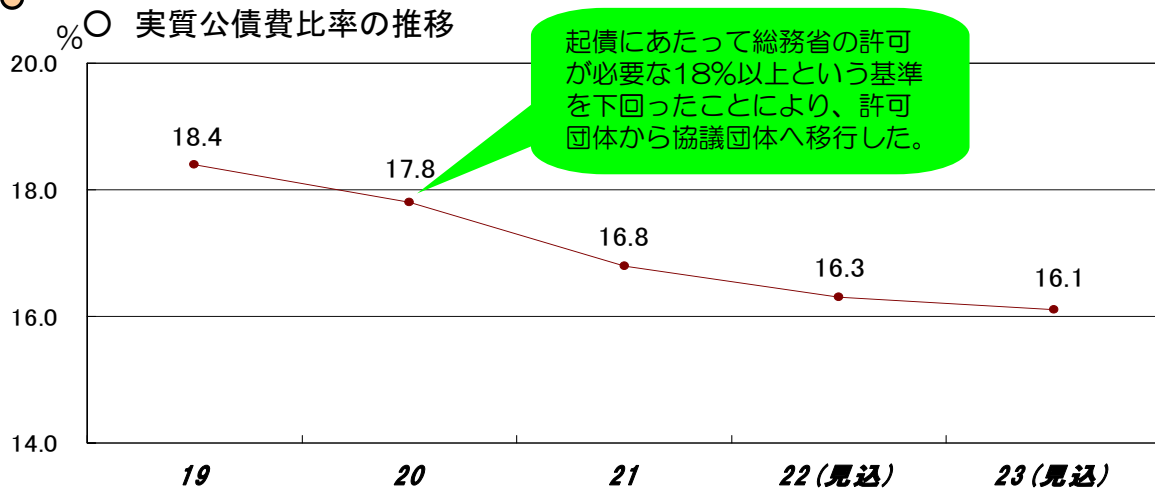
* 市債現在高は、16年度から21年度は決算、22年度は最終予算、23年度は当初予算によります。

(4)市債関係指標の状況

◇ 実質公債費比率

平成23年度 16.1%

地方債の発行に国の許可が不要な
18%未満の水準を4年連続で維持

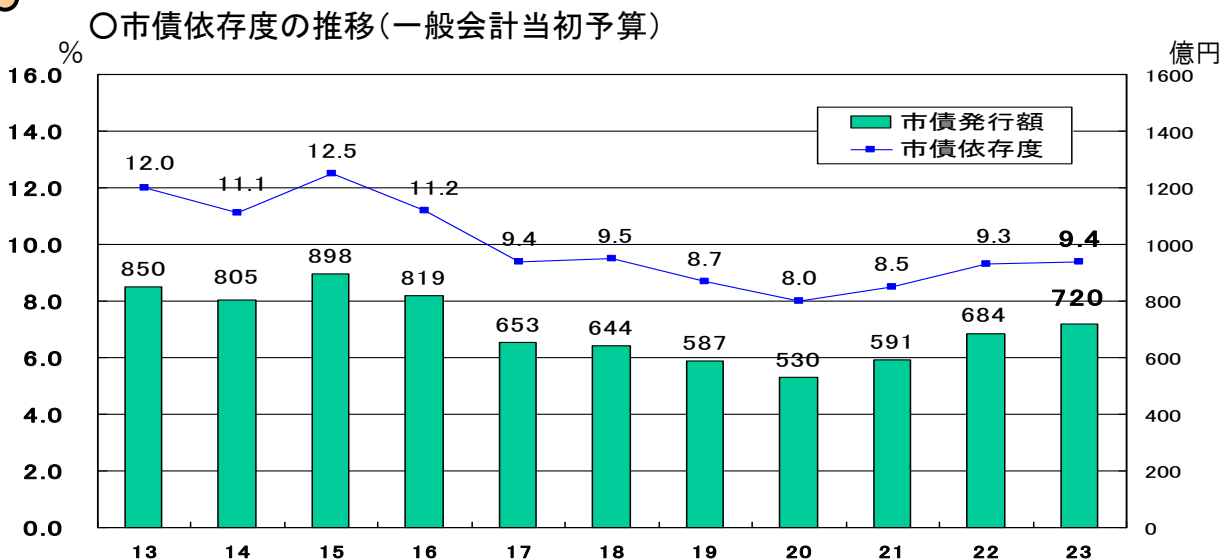


※実質公債費比率は、19年度から21年度までは決算、22年度は最終予算、23年度は当初予算。

◇ 市債依存度

平成23年度 9.4%

臨時財政対策債の増加により、市債発行は前年度より増加するものの、7年連続で10%を下回る水準を維持



【実質公債費比率】

税収や地方交付税など各自治体に共通した標準的な収入(標準財政規模)に占める、企業会計・外郭団体なども含めた実質的な元利償還金の割合。

この比率が18%以上になると、地方債を発行する際に国の許可が必要となります。また、25%以上になると、財政健全化法に基づき、自治体は、値を抑制するための財政健全化計画を策定し、財政健全化に向けて自主的に努力する必要があります。さらに、35%以上になると、国等の関与による確実な財政再生への取り組みが必要になります。

【市債依存度】

歳入総額に占める市債の割合のこと。つまり、当該年度の歳入のうち、どれだけの割合を市債発行に依存しているかを表しています。

◆ その他

1. 使用料及び手数料等の新設・改定

ア. 条例の改正・新設によるもの

会計	局名	使用料等名	主な改定内容	今回改定			前回改定					
				時期	改定率	増収見込額	時期	改定率				
一般	環境	一般廃棄物処理手数料 【福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例案】	○処分に係る経費 重量制の導入 減免率の見直し【50%→35%】	年/月 H23.10	% —	千円 160,262	年/月 H17.6	% 7.4				
			改正前（容量制）	<table border="1"> <tr> <td>定期収集 (事業系ごみ)</td> <td>収集量 50 リットルまでごとに 217 円</td> </tr> <tr> <td>臨時収集</td> <td>収集量 1 立方メートルまでごとに 5,350 円</td> </tr> </table>		定期収集 (事業系ごみ)	収集量 50 リットルまでごとに 217 円	臨時収集	収集量 1 立方メートルまでごとに 5,350 円	↓		改正後（容量制と重量制の併用）
定期収集 (事業系ごみ)	収集量 50 リットルまでごとに 217 円											
臨時収集	収集量 1 立方メートルまでごとに 5,350 円											
			<table border="1"> <tr> <td>定期収集 (事業系ごみ)</td> <td>次に掲げる額を合計した額 (1) 収集運搬に係る経費として収集量 50 リットルまでごとに 143 円 (2) 処分に係る経費として収集量 1 キログラムまでごとに 9 円</td> </tr> <tr> <td>臨時収集</td> <td>次に掲げる額を合計した額 (1) 収集運搬に係る経費として収集量 1 立方メートルまでごとに 3,885 円 (2) 処分に係る経費として収集量 1 キログラムまでごとに 9 円</td> </tr> </table>	定期収集 (事業系ごみ)	次に掲げる額を合計した額 (1) 収集運搬に係る経費として収集量 50 リットルまでごとに 143 円 (2) 処分に係る経費として収集量 1 キログラムまでごとに 9 円	臨時収集	次に掲げる額を合計した額 (1) 収集運搬に係る経費として収集量 1 立方メートルまでごとに 3,885 円 (2) 処分に係る経費として収集量 1 キログラムまでごとに 9 円					
定期収集 (事業系ごみ)	次に掲げる額を合計した額 (1) 収集運搬に係る経費として収集量 50 リットルまでごとに 143 円 (2) 処分に係る経費として収集量 1 キログラムまでごとに 9 円											
臨時収集	次に掲げる額を合計した額 (1) 収集運搬に係る経費として収集量 1 立方メートルまでごとに 3,885 円 (2) 処分に係る経費として収集量 1 キログラムまでごとに 9 円											
			※H25.4より上記のうち9円を11円, H27.4より上記のうち9円を14円とする									
		廃棄物の熱回収施設設置者認定等申請手数料 【福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例案】	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、 廃棄物の熱回収施設設置者の認定等に関する手数料を新設するもの ・新規認定 1件につき 33千円 ・変更認定 1件につき 20千円	H23.4	—	—	—	—				
		一般会計合計				(160,262) 160,262						

(注)合計欄の()書きは、新設、廃止等に伴う収入見込額を除いたもの。

イ 規則等の改正・新設によるもの

会計	局名	使用料等名	主な改定内容	今回改定			前回改定																																												
				時期	改定率	増収見込額	時期	改定率																																											
				年/月	%	千円	年/月	%																																											
一般	未	こ	保育料 【福岡市保育の実施に関する規則】 ※規則の改定は、H22年3月に実施済 <改定前> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">国階層</th> <th rowspan="2">所得税額</th> <th colspan="2">保育料</th> <th rowspan="2">市階層</th> <th colspan="2">保育料</th> </tr> <tr> <th>3歳未満児</th> <th>3歳以上児</th> <th>3歳未満児</th> <th>3歳以上児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第7階層</td> <td>413,000円以上</td> <td>80,000円 (保育単価限度)</td> <td>77,000円 (保育単価限度)</td> <td>D10</td> <td>64,000円</td> <td>30,200円</td> </tr> </tbody> </table> <改定後> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">国階層</th> <th rowspan="2">所得税額</th> <th colspan="2">保育料</th> <th rowspan="2">市階層</th> <th colspan="2">保育料</th> </tr> <tr> <th>3歳未満児</th> <th>3歳以上児</th> <th>3歳未満児</th> <th>3歳以上児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第7階層</td> <td>413,000円以上 734,000円未満</td> <td>80,000円 (保育単価限度)</td> <td>77,000円 (保育単価限度)</td> <td>D10</td> <td>64,000円</td> <td>30,200円</td> </tr> <tr> <td>第8階層</td> <td>734,000円以上</td> <td>104,000円 (保育単価限度)</td> <td>101,000円 (保育単価限度)</td> <td>D11</td> <td>83,200円</td> <td>30,200円</td> </tr> </tbody> </table>	国階層	所得税額	保育料		市階層	保育料		3歳未満児	3歳以上児	3歳未満児	3歳以上児	第7階層	413,000円以上	80,000円 (保育単価限度)	77,000円 (保育単価限度)	D10	64,000円	30,200円	国階層	所得税額	保育料		市階層	保育料		3歳未満児	3歳以上児	3歳未満児	3歳以上児	第7階層	413,000円以上 734,000円未満	80,000円 (保育単価限度)	77,000円 (保育単価限度)	D10	64,000円	30,200円	第8階層	734,000円以上	104,000円 (保育単価限度)	101,000円 (保育単価限度)	D11	83,200円	30,200円	H23.4	—	31,603	H21.4	—
						国階層	所得税額		保育料		市階層	保育料																																							
				3歳未満児	3歳以上児			3歳未満児	3歳以上児																																										
				第7階層	413,000円以上	80,000円 (保育単価限度)	77,000円 (保育単価限度)	D10	64,000円	30,200円																																									
国階層	所得税額	保育料		市階層	保育料																																														
		3歳未満児	3歳以上児		3歳未満児	3歳以上児																																													
第7階層	413,000円以上 734,000円未満	80,000円 (保育単価限度)	77,000円 (保育単価限度)	D10	64,000円	30,200円																																													
第8階層	734,000円以上	104,000円 (保育単価限度)	101,000円 (保育単価限度)	D11	83,200円	30,200円																																													
会	局	【福岡市立保育所条例施行規則】	延長保育料(2時間)の新設 児童1人につき月額6,000円	H23.4	新設	1,440	—	—																																											
			休日保育料の新設 児童1人につき日額2,500円 児童1人につき日額1,200円(5時間以内)	H23.4	新設	1,955	—	—																																											
計	保健福祉局	健康増進教室使用料 【福岡市立保健所使用料及び手数料条例施行規則】	健康増進教室事業の廃止 受診料 2,700円/回 → 0円/回	H23.4	皆減	△ 3,175	H18.4	22.8																																											
			農林水産局	有料施設使用料 【福岡市油山市民の森条例施行規則】	バンガローの寄贈によるもの 6人用 日帰りキャンプ 1,500円 宿泊キャンプ 5,000円 12人用 日帰りキャンプ 2,000円 宿泊キャンプ 8,000円	H23.4	新設	606	—	—																																									
市営	競艇事業特別会計	競艇場施設使用料 【福岡市モーターボート競走実施規則】	外向発売所の新設によるもの 外向発売所A指定席 1日 3,000円 外向発売所B指定席 1日 2,000円	H23.4	新設	16,368	—	—																																											
			外向発売所の利用者優先の駐車料金の新設 15分までごとに100円	H23.4	新設	42,625	—	—																																											
			前売投票所の利用者優先の駐車料金の改定 40分を超えて 15分までごとに100円 → 60分を超えて 15分までごとに100円	H23.4	新設	1,750	—	—																																											
				H23.4	—	—	—	—																																											
一般会計合計					(31,603) 32,429																																														
特別会計・企業会計合計					(0) 60,743																																														
全会計合計					(31,603) 93,172																																														

(注) 合計欄の()書きは、新設、廃止等に伴う収入見込額を除いたもの。

2. 事業仕分け（外部評価）対象事業の見直し状況

平成20年度から実施している「事業仕分け（外部評価）」結果の反映等により、

- ①平成23年度予算において、前年度比で約7億8,687万円（前年度比▲15.1%）の歳出を削減〔54事業が対象〕
- ②平成22年度から平成23年度予算の累積で、約8億3,400万円の歳出を削減

①平成23年度予算について

（単位：千円）

- ・平成20年度実施分（対象：11事業）
事業仕分け結果の反映等により、1,559万円の歳出を削減

H22年度予算	H23年度予算	(H23-22)	
129,930	114,341	▲ 15,589	(▲ 12.0%)
- ・平成21年度実施分（対象：19事業）
事業仕分け結果の反映等により、3,740万円の歳出を削減

H22年度予算	H23年度予算	(H23-22)	
1,073,235	1,035,838	▲ 37,397	(▲ 3.5%)
- ・平成22年度実施分（対象：24事業）
事業仕分け結果の反映等により、7億3,388万円の歳出を削減

H22年度予算	H23年度予算	(H23-22)	
4,016,146	3,282,263	▲ 733,883	(▲ 18.3%)

○評価別状況（平成20年度～平成22年度分）

評価	事業数	H22予算 (歳出)	H23予算 (歳出)	歳出削減額 (H23-H22)	主な事業
廃止	12	509,998	440,033	▲ 69,965	・空き缶プレスカー「カンパク大将号」[▲11,106(皆減)] 22年度末で廃止 ・健康増進教室(ヘルスアップスクール)[▲11,571(皆減)] 22年度末で廃止 ・道徳副読本等整備事業[▲23,238] 体育準教科書を大幅縮小(毎年整備→4年に1回)
縮小	8	265,599	239,027	▲ 26,572	・福岡アジア都市研究所経費[▲12,446] 財団のあり方について検討中 ・生ごみ処理機等購入費補助[▲5,577] 募集枠や事務経費を見直し
民間	6	497,856	473,961	▲ 23,895	・食の自立支援・配食サービス[▲3,582] 配食体制などの見直し。物件費を削減。 ・音楽関連産業の振興[▲1,991] 民間主体へ転換 ・小戸ヨットハーバー[▲19,626] 今後、具体的な管理運営方法等のあり方について検討
国・県・広域	1	24,595	23,749	▲ 846	・公共工事単価調査[▲846] 県作成単価のうち、利用可能なものについて活用を検討
要改善	27	3,921,263	3,255,672	▲ 665,591	・アジア経済交流センター等事業[▲7,129] 人件費比率の低下及び成果把握の手法を検討 ・公園樹木管理等[▲18,737] 事業手法等について検討中 ・浄水場等維持管理[▲577,833] 水道長期ビジョンに基づき、ダウンサイジングや集約化を検討 ・直結給水の普及促進事業[▲35,000] 直結給水モデル校は23年度末で終了予定。PRは引き続き実施
計	54	5,219,311	4,432,442	▲ 786,869	▲15.1%

※平成22年度実施の教育振興会関連事業(要改善)については、貸付金分を除く













②平成22年度から平成23年度予算における歳出削減額（単位：千円）

	22年度予算	23年度予算	合計
20年度外部評価対象(11事業)	▲ 18,155	▲ 15,589	▲ 33,744
21年度外部評価対象(19事業)	▲ 28,976	▲ 37,397	▲ 66,373
22年度外部評価対象(24事業)		▲ 733,883	▲ 733,883
合計	▲ 47,131	▲ 786,869	▲ 834,000

平成22年度から、平成23年度の2年間で、約8億3,400万円の歳出を削減

3. 市民1人あたりの予算(一般会計)

◇人口 1,430,804人 (H22年12月末住民基本台帳登録人口及び外国人登録人口)

	平成23年度予算	
	百万円	市民1人あたり予算 円
保健・医療・福祉に 	《1,506》 173,855	121,509 (22.8%)
道路・住宅・計画的なまちづくりに 	《43,757》 96,097	67,163 (12.5%)
地域経済の発展に 	《5,708》 138,858	97,049 (18.1%)
こどもの育成に 	《95》 95,002	66,398 (12.4%)
行政の運営に 	《17,241》 53,678	37,516 (7.0%)
学校や教育に 	《7,869》 56,220	39,293 (7.3%)
災害に強いまちに 	《3,854》 44,392	31,026 (5.8%)
清潔なまちに 	《4,143》 31,747	22,188 (4.1%)
地下鉄・水道事業の支援に 	《8,399》 26,652	18,627 (3.5%)
地域活動・文化・スポーツに 	《2,984》 19,485	13,618 (2.5%)
公園整備や緑の保全に 	《6,443》 17,368	12,139 (2.3%)
新鮮で安全な食料の提供に 	《911》 12,828	8,966 (1.7%)
合 計	《102,910》 766,182	535,492 (100.0%)

注1：予算額には、それぞれの事業の財源として過去に発行した市債の返済額が含まれてます。

注2：《 》内は、市債の返済額を内数として示しています。

注3：（ ）内は、構成比を示しています。